

原子力艦船横須賀入港1000回・現行安保60周年学習講演会

原子力艦船1000回入港と現行日米安保60周年を考える

横須賀に原子力潜水艦スヌークが入港したのが1966年5月30日です。それから原子力空母の配備。そして、2019年11月2日、原子力空母ロナルド・レーガン入港し、原子力艦船入港は、通算1000回となりました。この1000回入港をどう考えるか。そして、今年は現行安保条約60周年です。これらについて、第一人者の講師をお招きして「学習講演会」を企画しました。みなさんのご期待に応えられる学習講演会になるかと思えます。

講師プロフィール

吉田敏浩さん(ジャーナリスト)



プロフィール/吉田敏浩(よしだとしひろ)/ジャーナリスト・1957年大分県臼杵市生まれ。明治大学卒業後、ビルマ(現ミャンマー)のカチン人など少数民族の自治権をもとめるたたかい、生活、文化を長期取材。「森の回廊」で大宅壮一ノンフィクション賞受賞。「日米合同委員会」の権力構造に迫る研究で日本ジャーナリスト会議賞受賞。「ルポ・戦争協力拒否」(岩波新書)、「版空爆の思想」(NHKブックス)、「日米戦争同盟」(河出書房新社)など多数。戦争する国へ暴走する日本の現状を取材し鋭く告発する一級のジャーナリスト。

呉東正彦さん(弁護士)



プロフィール/呉東正彦(ごとうまさひこ)/弁護士・1959年横須賀市生まれ。東京大学卒業。横須賀で弁護士事務所開設。原子力空母等事故の放射能災害など環境汚染の危険性について、米国の海軍基地で発生した緊急停止事故の記録などを使って検証。一貫して、市民とともに原子力空母(原子力艦船)の危険性告発と母港撤回の運動を進める。

ご参加お待ちしております

～学習講演会～

★とき 2020年3月8日(日)

午後1時30分～4時30分

★会場 横須賀市産業交流プラザ3階第1研修室

★内容

◇DVD 上映：原子力艦船 1000 回入港を振り返る

◇学習講演

第1部 原子力艦船入港 1000 回と日米軍事同盟の変貌・現状をみる

*講師：吉田 敏浩さん(ジャーナリスト)

第2部 原子力艦船入港の危険と市民の暮らし

*講師：呉東 正彦さん(弁護士)

◇参加者の皆さんから

★参加費 500円

会場の地図



*京浜急行「汐入」駅から徒歩1分
*ベイスクエアよこすか一番館の3階にあります。

主催団体

神奈川県労働組合総連合/神奈川県平和委員会/神奈川県商工団体連合会/新日本婦人の会神奈川県本部/原水爆禁止神奈川県協議会/安保廃棄神奈川県統一促進会議/原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会